

令和2年第7回沖縄県教育委員会会議（定例会）議事録

1 開会及び閉会に関する事項

令和2年3月12日 午後3時開会
午後4時39分閉会

2 出席者及び欠席委員の氏名

(1) 出席者

教育長 平敷 昭人	委員 松本 廣嗣	委員 照屋 尚子
委員 上原 勝晴	委員 山里 清	委員 藏根 美智子

(2) 欠席委員

なし

3 説明のため会議に出席した職員の職氏名

教育管理統括監	儀間 秀樹	教育指導統括監	半嶺 満
参事	識名 敦	参事	當間 正和
総務課長	佐次田 薫	教育支援課長	横田 昭彦
施設課企画財産班長	金城 広宣	学校人事課長	屋宜 宣秀
県立学校教育課長	玉城 学	義務教育課長	宇江城 詮
保健体育課長	太田 守克	生涯学習振興課長	山城 英昭
文化財課長	濱口 寿夫	義務教育課主任指導主事	大里 元児
義務教育課指導主事	仲松 研		

4 議事関係

(1) 開会

平敷教育長が開会を宣告した。

(2) 非公開の決定及び議事日程の決定

議案第5号及び第6号は人事に関する案件であることから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第14条第7項の規定により非公開とすることが全会一致で決定された。また、議事日程は会議資料記載の日程案のとすることが決定された。

(3) 令和2年第6回議事録の承認

全会一致で、令和2年第6回議事録を承認した。

(4) 議事録署名人の指名

平敷教育長が、上原委員を議事録署名人に指名した。

(5) 報告事項

報告事項1 令和元年度学力向上推進本部会議開催結果について

【説明（義務教育課長）】

資料に基づき、令和元年度学力向上推進本部会議開催結果について報告を行った。

【質疑等】

- 上原委員 推進本部会議の結果ということで、小学校の新学習指導要領が次年度から実施されるのはタイミング的にも良い方向性で推進できると思います。委員の方々からたくさんの提言があったと思いますが、その中で特にプロジェクトⅡに反映されたものをいくつか紹介していただけますか。
- 義務教育課長 例えば、小中学校長の校長会の委員からは、学校の働き方改革などたくさんやることが出てきたのもっとスリムにまとめて推進してもらいたいとありました。大学の先生からは、学びの質を高める授業改善ということで、新学習指導要領に書いてあることも含めて助言もございました。詳細については議事録でまとめています。
- 上原委員 前回も授業改善が中心で、問いのある授業作りに関連した施策に基づいて、具体的で実行性のある計画が提言され、各学校はその通り取り組まれてきたと思いますが、今回も学校改善がもう一つの柱として打ち出されているようです。この辺について、委員の方々からの意見などはありましたでしょうか。
- 義務教育課長 授業改善についてはこれまでの成果も踏まえ、今後は学びの質を高めるということで組織的な向上として学校改善をしていこうとのお話も出ていました。やはり両輪で進んでいくかたちで推進していくようにとご助言がございました。
- 教育長 学校改善とは組織的な対応が出来るようにするということですか。要するに、個々の先生の授業改善という意味ではなく、組織的に授業改善に取り組むということですか。
- 義務教育課長 そうです。これまでは授業改善ということで先生方の授業力をあげることに取り組んできて成果を上げてきました。それを踏まえ、組織的に学校全体の学びの質を高めるということで学校改善を打ち出していくということです。
- 上原委員 授業改善については、今おっしゃったように学校全体として授業改善の方向性を重点化して取り組んできたと思いますが、さらに指導要領等で謳われている教科横断的な観点や校種間の連携、円滑な接続等々の視点が入ってくると理解します。授業個々のものではなく、各教科間の方向性も学校全体としてカリキュラムマネジメントして行っていくのだと理解してよろしいでしょうか。
- 義務教育課長 はい。

- 松本委員 要するに授業改善が終わったわけではないですね。授業改善も続けていきながら、学校改善もするということですね。
- 義務教育課長 はい。どの教科でも同じように取り組めるように、学校改善をしっかり行っていこうということです。
- 上原委員 ありがとうございます。
- 藏根委員 今回はプロジェクトⅡですね。プロジェクトⅠに関しては、数値としての結果だけではなく、学校現場の先生方の意識も大変素晴らしいと感じています。今回の新しい指導要領の中には主体的な学びや自己肯定とあり、それをさらに先生方に周知することが大事だと思いますが、どのように周知されていきますか。
- 義務教育課長 研修会等いろいろなかたちで、今回のように先生方へ簡単に理解できるよう周知していきたいと思います。
- 藏根委員 ひとつ提言してよいでしょうか。照屋委員と一緒に教育センターの指導主事の発表を聞きました。プログラミング教育、論理的な思考というところで、幼児教育から小学校、中学校、高等学校、そして産業、専門といった校種間を超えた新しい教育観で、まさに今みなさんがやっていることの具体的なものを3時間かけて発表していました。これを学校の先生方の耳に届けるとすごくイメージが湧くと思います。事務所長や校長が来ていましたが、校内研に繋げていく。小学校は小学校だけでやるというのではなく、3時間ぶんの内容をすべて聞かせてあげると、新しい要領と併せてプロジェクトⅡがわかりやすくなると思います。
- 義務教育課長 はい。ぜひ教育事務所に周知したいと考えております。ありがとうございます。
- 照屋委員 新しい5か年プラン・プロジェクトⅡの冊子を先ほど見せて頂きました。前回は教師の授業の質を高める授業改善が中心だったということですが、今回は学校の中心が児童生徒ということで、子どもの学びの姿がはっきりと書かれておりとても素晴らしいと感動しました。以前、東京都の小学校の視察に行った時、学力向上と特別支援教育は両輪であるということで、この2つを柱に学校経営目標を立てているところが多いと感じていました。このプロジェクトⅡにもありますように、やってみたい、調べてみたい、解決したいという子どものやる気を引き出すことが教育の原点だと思います。また、子ども一人ひとりの教育ニーズに応じた支援をなくして学力向上や生きる力の育成はないと思っています。それもしっかりとこのプロジェクトⅡには書かれているので、ぜひ学校現場の先生方一人ひとりに周知していただいて、保護者にも周知をしていただいて、学校と家庭が連携出来れば学力向上にも繋がると思います。ぜひ学力向上と特別支援教育は両輪であるべきとの周知ができればと思います。また、先生方が気づいて手立てが打てる子どもはいいのですが、中にはパステルゾーンやグレーゾーン、大人しくてSOSが発信出来ない子

ども達もいますので、その子ども達を見逃すことのないように手立てを打っていた
だくと学校全体の学力向上に繋がると思います。その辺もよろしく願います。

- 義務教育課長 はい。ありがとうございます。
- 山里委員 この学力向上プロジェクトⅡもよくまとめられていると思います。その
中で学校連携・地域連携の項目が出されていると思いますが、今後学校が組織とし
て学力向上に取り組んでいくとき、市町村教育委員会や地域の方々の協力が得られ
ず学校運営がスムーズにいかないとなると、学習の質の向上には当然繋がっていか
ないと思います。その辺はしっかり書かれているとは思いますが、組織の中に市町
村関係の方々が入っていないと思います。例えば市町村教育長や教育委員会の代表
など。学校が組織として地域と連携していくときに市町村と協力してお願いしてや
っていくことが必要だと思います。設置要綱はすでにありますので、会議の時にオ
ブザーバーなど参考ということで意見を聞いても良いのではないかと思います。ご
検討のほどよろしく願います。
- 義務教育課長 はい。沖縄県教育委員会学力向上推進本部設置要綱の第6条で「本
部長は、委員以外の者の意見を聞く必要がある場合は、委員以外の者を出席させる
ことができる」とありますので、そのようにしていきます。
- 教育長 オブザーバーでも参加可能ということですね。
- 義務教育課長 はい。参加可能ですので、活用してご意見等頂きたいと思います。
- 上原委員 これまで続けてきた「問いが生まれるサポートガイド」のような資料も
作成する予定でしょうか。授業改善の視点や指導の方法などといった内容の資料を
このプロジェクトⅡでも作る予定ですか。
- 教育長 サポートガイドと似たような資料を作る予定はあるかということですね。
- 義務教育課大里主任指導主事 授業改善をサポートするツールは、「問いが生まれる
授業サポートガイド」も引き続き活用します。また、学校現場で授業改善につな
がるツールとして出す予定で準備をしております。
- 教育長 今までのサポートガイドも活用するし、新たなものも作成されるというこ
とですか。
- 義務教育課大里主任指導主事 これまでにプラスして、学習指導要領の中に単元
を見通した時間まとまりでの資質能力アップという授業改善も求められている視点か
ら、学校現場で授業改善に使えるツールとしてプランシートをこちらから提供す
ることとしています。
- 上原委員 採択された小学校の教科書をいくつか見てみるとわりと学習指導要領に

基づいており、何を育てるか、何がわかれば良いのかを意識しながら写真や図、たくさんのキーワードを使って各教科書会社は工夫していると思います。特に生活科や国語、算数についても非常に幼児教育からの接続を意識して作られていると思います。この単元・小単元で何をわかってほしいのか明確な教科書が増えていると感じます。そういった採択された教科書にも合わせながら、授業改善に活かせるような意識をして学校に助言等して頂ければありがたいと感じました。

- 義務教育課長 15、16 ページの単元プランシート等も含め活用できるものを提示して学校で工夫し、これまでのものも使いながらやっていきたいと考えています。

報告事項 2 令和元年度沖縄県学力到達度調査の結果について

【説明（義務教育課長）】

資料に基づき、令和元年度沖縄県学力到達度調査の結果について報告を行った。

【質疑等】

- 蔵根委員 これまでのきめ細かい分析から作問をして子どもたちに与え、それが成果として結果に出ているから、子どもたちや私たち県民の自信につながっていると、本土にいる方などいろいろなところから聞きます。ただ、今度は記述式や読解力が課題だと思います。必ずしも点数だけではないですが、指導と評価の一体化を何度もやってきていると思います。国語が苦手な点数が低いのでその対策としてあがっていますが、この国語が4年と6年にないのはどうしてでしょうか。
- 義務教育課仲松指導主事 本県は26年度から13科目を実施しています。算数は特に大きな課題でしたので小学校3年生から中学校2年生まで一貫して取り組んでいます。5年生の国語に関しては、上位学年であるため入れていきます。下学年は、発達段階として3年生に国語を入れさせてもらっています。中学校に関しては、高校入試を考慮しまして2年生で5教科を実施しております。小学校理科に関しては全国学力調査等の絡みもありまして、5年生の理科でやってみてはどうかということで現在に至っております。
- 蔵根委員 わかりました。提案ですが、やはり教育というのは書くことで、書くことは正確な考え方や思考力を身につけるうえで大事です。そういう書く力をチェックする機会を作ることが大事であると思います。もう一つは語彙力です。語彙力をつけるために図書館や新聞を活用して、授業改善の中に並行読書や新聞活用を取り入れることを提言したいと思います。
- 義務教育課長 はい。ありがとうございます。

(6) 議案審議

議案第1号 次期沖縄県教育振興基本計画策定方針について

【説明（総務課長）】

資料に基づき、次期沖縄県教育振興基本計画策定方針についての説明を行った。

【質疑等】

- 上原委員 8ページ、図で表記して分かりやすいです。基本計画の策定と合わせて上記の振興計画や実施計画が策定されていくと思いますが、その準備状況はいかがでしょうか。
- 総務課長 企画部で新たな振興計画に取り組んでいるところで、今年度は点検・評価を実施してまとめているところです。次年度において新たな振興計画についての草案作りを進めていくということです。それと合わせて、出てくる意見も参酌しながら同時並行で進めていく計画でございます。
- 上原委員 令和4年に一斉スタートということですか。
- 総務課長 はい。
- 上原委員 あと1点よろしいですか。8ページの図の中で長期ビジョンや具体化な施策展開があるのですが、次年度義務教育課に新設される幼児教育班は、公立学校教育としてまとめて入っていると思われませんが、幼児期の教育も重要ですので、まとめずに幼児教育の枠みみたいなものを作っても良いのかなと思いますが、いかがでしょうか。
- 総務課長 ここにあらわしているのはイメージ図ですのでこれに従って政策をまとめていくということではなく、イメージとして捉えて考えて頂きたいと思います。
- 上原委員 ですからそのイメージをそういう視点として考えて検討して頂ければと思います。
- 総務課長 次の計画をする際には、幼児教育の部分もどのように表現できるか検討していきたいと思います。
- 上原委員 新設した班ですので、それを活かしながら、よろしくをお願いします。
- 教育長 幼児教育の項目からすると、特別支援教育や社会教育の話などいろいろな分野が出てきます。ここにある項目はあくまで例示であって、基本計画の中には謳われていますよね。
- 総務課長 文言として出てくるとは思います。
- 教育長 項目として格上げするか、今後は検討したほうが良いと思います。

- 総務課長 はい。検討していきたいと思います。
- 山里委員 感覚的に 10 年の社会の変化というのは激しいところで、特に 21 世紀に入って I C T など技術革新が想像以上に早くなっていると考えれば、なかなか 10 年先を見通すというのは難しい面がある気がしますが、この 8 ページにもありますように関係部局や関係課の連絡会議等にて案を作成するとなっていますので、そこで忌憚なく自由に発言をしていただいでじっくり議論していただければと思います。2 年あるということなので十分議論の場や機会が取れると思います。前にはなかったもので、多様性だったり L G B T だったり、最近は高等学校でも制服の男女差をなくしたり、5 年前や 10 年前には考えられなかったことが結構あります。電気自動車だったり、I C T でいえばソサイティ 5.0 ということで生活環境の中にコンピューターが繋がったり。当然それは教育にも関連してくる部分があると思うので、従来の計画もしっかり踏まえながらこれからの社会動向も吸収するかたちで思い切って取り入れていただければと思います。よろしくお願いします。
- 総務課長 国の教育施策も踏まえていろいろな分野から情報収集して、10 年先の未来を見据えるようなかたちで計画していきたいと思います。
- 照屋委員 8 ページの沖縄県教育振興基本計画検討委員会はこれから招集をかけて立ち上がるということなのでですね。先ほどの学力向上でも申し上げましたが、学力向上と特別支援教育は両輪であると個人的には思っています。学力向上の観点からもインクルーシブ教育システムの構築の観点からも、学識経験者の中で特別支援教育に精通した方をぜひ入れていただいでご意見を頂きたいと思いましたが、よろしくお願いします。
- 総務課長 検討委員会については令和 2 年の 5 月頃に第 1 回を予定しておりますので、それまでに今おっしゃった視点で委員の選定を検討していこうと思います。
- 照屋委員 ぜひよろしくお願い致します。
- 藏根委員 これは文化財保護関係になると思いますが、首里城が焼失して私たちも心を痛めています。方々から沖縄の歴史や郷土の教育がまだまだ十分にやられていないとの話が聞こえてきます。特に、大学教育の中で郷土の歴史や尚家の尚泰久王など学んだかと聞いたら、学んでいないというらしいですね。そういう郷土の歴史の教育について、アイデンティティを持って首里城との関わりも含めやってほしいと思います。
- 文化財課長 文化財課としては、沖縄県史の編纂や歴代宝案といった沖縄の歴史に関わる資料など学生にも使えるような郷土本を刊行しております。あとは学校での活用が今ひとつ十分でないところもありますので、どうやったら授業に使えるかという授業案を提案させていただいたり、先生方向けに研修会をしたり、いろいろな方法で郷土の歴史を学校で勉強していただけるようにやっていきたいと思ひます。

- 藏根委員 ありがとうございます。そういう意見がどんどん大学の先生から聞こえてくるので、よろしくお願いします。
- 松本委員 先ほど山里委員からもありましたけども10年先を見通すのは本当に難しいものがあると思います。今も新型コロナウイルスの影響で世界経済がどうなるかわからない状況になっています。社会の状況に応じて、我々が目指す教育もある程度変わっていくと思います。ですから、それを反映するためにも5年10年というスパンは大事だと思います。ただ、いろいろな意見を入れて計画を立てることは大事なのですが、検討委員会の下に「パブリックコメント」とありますよね。私はいくつかのパブリックコメントを見せてもらったことがあります。ほとんどないんです。ただ私たちの計画はこうです、どうぞ勝手に見て意見を言ってくださいというやり方では限界があるのではないかと思います。我々は、本当の意味での有用なパブリックコメントをたくさん手にいれる仕組みや動きを考えて、それを反映できるようにする必要があると思っております。その辺を今後考えて頂けるとありがたいと思います。
- 総務課長 パブリックコメントについて、周知方法も今後いろいろ検討していきたいと思います。
- 上原委員 今の山里委員や松本委員と似ているかもしれませんが、7ページ(6)に「県内各界からの意見を聴取する」と謳われています。民法も改正されて18歳以上から成人ということもありますので、次の世代の主役である若い世代の意見も意識して聞いたり大学等の協力を得たりするなど工夫していく必要があると思います。それから、県も推進をしていますが持続可能な社会ということで新学習指導要領にも謳われており、持続可能な社会をどう作っていくか具体的な行動も求められています。こういった観点を踏まえると、この職業に聞いてみよう、この階層にも聞いてみよう、が出てくると思いますので、その辺も少し留意されて意見を聞いて頂けたらありがたいと思います。以上です。
- 総務課長 検討委員会の他にアンケート調査も行いますし、地区協議会にて各地区でいろいろな意見を聞いていきますので、その時に委員のおっしゃったような方々も参集できるか検討していきたいです。

【採決の結果】

全会一致により、原案のとおり可決された。

議案第2号 沖縄県教育委員会一般職非常勤職員の職の設置に関する規程の一部を改正する訓令について

【説明（総務課長）】

資料に基づき、沖縄県教育委員会一般職非常勤職員の職の設置に関する規程の一部を改正する訓令についての説明を行った。

【質疑等】

- 山里委員 国が進めている同一業務同一賃金の中で、非常勤職員を会計年度任用職員として正社員の位置付けに変えていくことは、働く側からすると前向きで良い変更だと思います。教育委員会の中でもこの機会にこれまでの嘱託員の整理をしたということで、とても良かったと思います。普通の一般事務の非常勤の方々もたくさんいらっしゃったと思います。一般論として、同一労働同一賃金ということはいわゆる正職員並みの仕事をきっちりしている方には同じような給与を払いなさいということです。これまで教育委員会も含めて県庁では非常勤職員に対する研修などの育成について不十分な面があったと思います。この方々は県や教育委員会の中で1年や2年補助的な仕事をされていましたが、本人の資質の向上にはなかなか繋がっておらず、次の民間へ就職する時にほとんどスキルがアップしていないと民間からの声もたくさんあったような気がします。今回この会計年度任用職員という制度が出来たということで、ここに書かれている資格を持っている方々はもともとしっかりした専門技術を持っているので疑問ではないかと思いますが、一般事務の臨時職員については次のステップアップもしっかり考えて頂いて、必ずしも研修ではなくてもOJTなど通常の仕事をしながらでも資質の向上についてしっかりやって頂ければと思います。よろしくお願いします。
- 総務課長 事務補助については、今回の改正で行政職の主事級という位置付けで給料を払っていることになります。各所属やっている業務はそれぞれあって、どの業務をやるかは所属で考えることだと思いますが、主事級でもできるような仕事であればそれを取り入れることも検討していきたいと思います。

【採決の結果】

全会一致により、原案のとおり可決された。

議案第3号 沖縄県立学校職員安全衛生管理規程の一部を改正する訓令について

【説明（学校人事課長）】

資料に基づき、沖縄県立学校職員安全衛生管理規程の一部を改正する訓令についての説明を行った。

【質疑等】

- 教育長 今回は法改定を受けて改正したわけではないですね。

- 学校人事課長 はい。本人の療養に向かう背中を押すと言いますか、そういう部分のために規定したところがございます。

【採決の結果】

全会一致により、原案のとおり可決された。

議案第4号 教育職員免許状の有効期間の更新等に関する規則の一部を改正する規則について

【説明（学校人事課長）】

資料に基づき、教育職員免許状の有効期間の更新等に関する規則の一部を改正する規則についての説明を行った。

【質疑等】

- 教育長 更新講習を受ける職員は従来教育委員会の職員であるという前提であったものが、首長部局の職員の場合もあるので、そういう人も対象に含めるという趣旨の改正ですね。
- 学校人事課長 はい。入念規定になっております。これまで首長部局の職員も個人的に教員免許を持っていれば更新を行わなければならなかったのですが、今回明確に対象であると規定しているかたちになります。
- 教育長 出来ると文言が入っていなかったが更新していたということですか。
- 学校人事課長 いえ。個人としての免許なので、当然個人として更新できます。

【採決の結果】

全会一致により、原案のとおり可決された。

議案第5号 学校職員の人事について（非公開）

議案第6号 学校職員の人事について（非公開）

(7) その他

【平敷教育長退任挨拶】

私が教育長に就任してから4年経ちました。もともと教育長の任期は4年で、2年ずつ交代していましたが、新制度になってからは3年の任期です。昨年、満期3年を終え

たあとに議会で再度3年の任期をいただいたのですが、この度は一身上の都合により退任させていただくことになりました。

就任してからいろいろな問題や課題が起きました。教育委員会は本当に日々新しい課題がどんどん出てくるところです。今話題となっているのは、高校の教育と、障害を持つ生徒の学びをどうやって両立させるかという、重度知的障害の生徒の学ぶ仕組みづくりについてです。大変だと思いますが、他の県の状況も見ながら、私のときには完成できなかったのですが、残る皆様には頑張ってくださいと思います。教育委員の皆様方にはそれぞれの専門の観点や、大所高所から様々なご意見等をいただき、引き続き教育方職員をご指導いただければありがたいと思っております。今後の課題としては、働き方改革であったり、始まったばかりのキャリアパスポートであったり、授業改善、学力向上とたくさんあります。次から次へと課題が多く職員は潰れないかと思うぐらい、いつも気にしながらやっているのですが、私はこの3月で卒業することになりました。この職を離れたあとも、この4年間お世話になった場所ですので、引き続き応援していければと思っております。

4年間本当にお世話になりました。御礼申し上げます、挨拶といたします。

(8) 閉会

平敷教育長が閉会を宣言した。